

## PEM取得へのカリキュラム

### 生態環境人材育成プログラム

生態系適応科学を基盤として、生態環境問題解決のためのマネジメント、コミュニケーションなどの実践能力を育成します。講座には、社会人にむけて、土日の集中講義および e-learningを活用します。

		科目名	内容
環境学実践マネジメント講座	生態環境 マネジメント科目	サステナビリティ概論	サステナビリティに向けた動きに関して、主要な地球環境問題が企業・行政運営に与える影響について体系だった理解を得ることを目的とする。
		環境マネジメント概論	資源・環境制約に人間社会がどう向き合ってきたかを歴史的に振り返ると共に、環境マネジメントシステムの実態と将来に向けた課題について理解する。
		ソーシャル・レスポンスィビリティ学Ⅰ	持続可能な社会を構築するために先進国だけではなく、途上国の環境に与える影響も含め、各主体が果たすべき責任を、企業や行政を中心に考える。
	生態環境 ソリューション科目	ソーシャル・レスポンスィビリティ学Ⅱ	実際に活動に携わっている企業・官庁・NGOなどの担当者を講師に招いて各主体の社会的責任について、実例を紹介する。
		環境マネジメント手法	生態系や生物多様性の管理やその問題解決に必要な、順応的管理の考え方、シナリオ作成とオプション選択、および、合意形成などの手法を具体的に学ぶ。
実践科目	国際フィールド実習	環境問題を抱える海外現地で集中的な講義とともに、学生グループにテーマを与えてその解決を探る実践的実習を行う。	
	国際インターンシップ	海外の研究機関や企業、国際機関、NGOなどで大学院生のインターンシップを行う。	

## PEM取得のための前提条件

PEM取得のためには、下記のプログラムを修了し、博士号を取得していることを前提としています。

### 基盤教育プログラム

科目名	内容
生態系適応科学基礎	生態系適応科学の基盤となる基礎的な分野の知識と考え方を、履修者の専門分野の講義から修得する。(他大学より博士課程後期へ編入する場合は免除)
生態系適応科学Ⅰ	生態系適応科学の考え方を修得するために、基礎分野、技術分野、社会システム分野それぞれを、分野間のつながりや融合の必要性の観点から理解が深まるような講義を実施する。
生態系適応科学Ⅱ	全学的に実施されている生態学合同講義では様々な分野の講義が行われている。複数の保全問題テーマに応じて受講すべき講義と順番を設定し、体系的な講義を実施する。

### 先端研究者育成プログラム

科目名	内容
特別研修Ⅰ	海外への短期留学、国際学会発表など、その実績に応じた単位を認定する。
特別研修Ⅱ	国際フォーラム・ワークショップへの参加。
課題研究	課題研究の中で、国際共同研究を推進する。